



### 読書集会～読み聞かせの時間より

先週浜千鳥の会の方がお見えになり、本の読み聞かせをしてくださいました。5・6年生のみんなは、詩と絵本を読んでもらいました。どちらも命に関するお話でした。

読んでいただいた詩を紹介いたします。

この詩を書いたのは堀明子さんというかたです。1972年、神奈川県生まれ。小学校より詩を書き始める。1988年、16歳の夏（フェリス女学院に在学中）、事故により亡くなる。

生  
き  
る  
よ  
う  
こ  
び

あ  
あ  
生  
き  
る  
よ  
う  
こ  
び

生  
き  
て  
い  
る  
か  
ら

よ  
こ  
ろ  
び  
が  
あ  
る

お  
い  
し  
い  
も  
の  
も

た  
べ  
る  
よ  
こ  
ろ  
び  
も

美  
し  
い  
絵  
に  
感  
動  
し

見  
い  
る  
と  
き  
の  
幸  
福  
も

生  
き  
て  
い  
る  
か  
ら

味  
わ  
え  
る

生  
き  
る  
よ  
う  
こ  
び  
に  
く  
ら  
べ  
ば

少  
し  
ば  
か  
り  
の  
不  
幸  
な  
ど

な  
ん  
で  
も  
な  
い

事故がなければ鈴木先生の旦那さんくらいの年になっていたはずです。普段生きているという喜びはなかなか実感できないものです。でも、家族や自分が病気になったときなど、ふと「生きている」ということをありがたく思う瞬間があります。私は、この詩をきいたとき、ふと息子のことを思い浮かべました。我が子がおなかの中にいるとき、初めてムニムニした瞬間や、生まれた瞬間、小さいながらも一生懸命おっぱいを飲んだり呼吸をしながら精一杯生きようとする姿を思い出しました。命は一つしかない大切なもの、そしていろいろなものに感謝して生きていかなければならないことをこの詩から教えてもらった気がします。せっかくお父さんお母さんからいただいた大切な大切な命。一つしかない命。一度しかない人生。嫌なこともつらいこともあるかもしれないけれど、「生きている」からこそ味わえる喜びがそれ以上に見つかるかと思えます。簡単に命を捨てることがありませんように。

### 前期児童会総会を終えて

先週前期児童会総会が行われました。今年度の委員会活動を活発に行えるよう、みんなでいろいろな意見を出し合うのが目的です。5年生は、全校の前で発表するのは少々苦手のようで、いつもあまり手が挙がりません。確かに、間違っただけを自分で言ったのではないかという心配とか、みんなの前ではちょっと恥ずかしいという気持ちは十分わかるのですが……。5年生ともなるとそうは言ってもらえません。なぜなら、学校のリーダーだからです。

そこで、少しでも皆さんに意見を出してもらおうと、少し荒手ではありますが、「何回発表したかチェックします」と、みんなに言ったところ……。意見が出るわ出るわ。すばらしかったです。事前に自分で質問や意見を考えておいたのですが、それは1つか2つの人が多かったのです。しかし、チェックが入るといって、かなり皆さんがんばって質問や意見を考えたようです。出された考えはどれもすばらしく、今後のそれぞれの委員会活動に参考になったのではないかと思います。中でもすばしかったのは、あおし君です。ほとんどの人たちは、「〇〇なのですか？」と質問して、答えを聞いて「はい、わかりました。」と座るのですが、あおし君の場合、「はい、わかりました。」と納得する前に、少し委員長に食い下がって、またまた意見を述べたのです。とてもすばらしかったです。委員会活動においても、6年生の言いなりになるだけではなく、自分の意見をどんどん出して、市浦小学校をよりよくして行ってほしいと思います。5年生の皆さん、とってとっても立派で先生は涙が出そうになりました。（本当です。）これを機会に、全校児童の前で自分の考えをどんどん発表できる5年生になれることを願っています。



保護者の皆様へ

14日(月)お忙しい中研修委員会の会議に出席いただきありがとうございました。私も出席する予定でしたが、私用のため出席できませんでした。申し訳ありませんでした。